

国語科（現代の国語）

1 単元名

情報の妥当性や信頼性を吟味しながら、自分の考えを的確に伝える意見文を書こう

（『安くておいしい国』の限界）・「統計資料をもとに意見を書く」

2 単元の目標

- (1) 主張と論拠など情報と情報との関係について理解することができる。
- (2) 目的や意図に応じて、実社会の中から適切な題材を決め、集めた情報の妥当性や信頼性を吟味して、伝えたいことを明確にすることができる。
- (3) 自分の考えや事柄が的確に伝わるよう、根拠の示し方や説明の仕方を考えるとともに、文章の種類や、文体、語句などの表現の仕方を工夫することができる。
- (4) 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする。

3 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
①主張と論拠など情報と情報との関係について理解している。	①「書くこと」において、目的や意図に応じて、実社会の中から適切な題材を決め、集めた情報の妥当性や信頼性を吟味して、伝えたいことを明確にしている。 ②「書くこと」において、自分の考えや事柄が的確に伝わるよう、根拠の示し方や説明の仕方を考えるとともに、文章の種類や、文体、語句などの表現の仕方を工夫している。	①意見文を書くことを通して、情報の妥当性や信頼性の吟味の仕方について理解を深め、自分の考えが読み手に的確に伝わるよう根拠の示し方や説明の仕方を粘り強く考え、自らの学習を調整しようとしている。

4 指導と評価の計画

「指導と評価の計画」の工夫

- ・ 1～3時間目に、論理的な文章を読むことを通して、情報の扱い方に関する主張と論拠など情報と情報との関係についての「知識及び技能」を身に付ける場面を設定した。
- ・ 「書くこと」の領域における題材の設定、情報の収集、内容の検討の学習活動では、生徒が教科の見方・考え方を働かせて取り組めるようにするとともに、対話の場面を4～5時間目に設定し、主体的・対話的で深い学びの実現を目指した。
- ・ 「書くこと」の領域における考えの形成の学習活動では、単元の中で身に付けた「知識及び技能」を活用する場面を5時間目に設定し、理論に基づいた実践を通し、「思考力、判断力、表現力等」を深めることを目指した。
- ・ 意見文を書くことによって、言葉の価値を認識し、言葉を通して他者や社会に関わろうとする姿勢を身に付け、今後の学習につなげられるように配慮した。

次	時	主な学習活動	評価の観点			評価規準と評価方法
			知	思	態	
1	1	<ul style="list-style-type: none"> 単元の目標や進め方、言語活動の詳細及び評価の観点を把握し、学習の見通しをもつ。 評論『安くておいしい国』の限界』を通読し、複数の情報を論拠とした筆者の主張を捉える。 	○			<ul style="list-style-type: none"> 単元の目標や進め方、言語活動の詳細及び評価の観点を把握し、学習の見通しをもっている。 評論『安くておいしい国』の限界』を通読し、複数の情報を論拠とした筆者の主張を捉えている。
	2	事例1 <ul style="list-style-type: none"> 評論『安くておいしい国』の限界』を読んで、統計資料をどのように用いて、筆者が自身の論を展開しているかを考える。 	◎			<ul style="list-style-type: none"> 文章を読み、統計資料とその他の事実の情報を組み合わせて論を展開していることを理解している。《ワークシート》
2	3	<ul style="list-style-type: none"> 「統計資料をもとに書く」手順をワークシートに従って確認する。 I 解釈を挟まずに統計資料のデータを読み取る。 II 自分の主張に必要な情報を選び取る。 III 論理の飛躍がないか確認し、主張を文章にまとめる。 	○			<ul style="list-style-type: none"> 「統計資料をもとに書く」手順Ⅰ～Ⅲをワークシートに従って確認し、理解している。
	4	<ul style="list-style-type: none"> 教科書にある統計資料①～④より一つ選び、データから読み取れること、自身の主張を考える。 グループで交流し、互いの主張に飛躍がないか確認する。論の飛躍がある場合はどのような情報があると良いか意見を出し合う。 		○	◎	<ul style="list-style-type: none"> 統計資料①～④より一つ選び、データから読み取れることを基に、自身の考えを形成している。 自身の考えや事柄が的確に伝わるよう、根拠の示し方や説明の仕方を工夫し、共有している。《ワークシート》
	5	事例2 <ul style="list-style-type: none"> タブレットを用いて自身の主張を展開するために必要な情報を選び取る。 教科書の統計資料と自分が選んだ情報を基に400字～600字以内で意見文を書く。 		◎		<ul style="list-style-type: none"> 目的や意図に応じて、実社会の中から適切な題材を決め、教科書のデータとその他の集めた情報の妥当性や信頼性を吟味して、自身の主張を書いている。《ワークシート》
	6	事例3 <ul style="list-style-type: none"> 同じ統計資料を選んだ生徒同士でグループを作り、互いの意見文を相互評価する。 各グループの代表者が全体発表を行う。 単元の振り返りを行う。 			◎	<ul style="list-style-type: none"> 意見文を書くことを通して、情報の妥当性や信頼性の吟味の仕方について理解を深め、自分の考えが読み手に的確に伝わるよう根拠の示し方や説明の仕方を粘り強く考え、自らの学習を調整しようとしている。《ワークシート》

5 **事例1** 観点別学習状況の評価の進め方 **知識・技能**

(1) 本時(第2時)の目標

論理的な文章を読み、筆者の主張やその根拠となる資料を整理して、主張と論拠など情報と情報との関係について理解する。

(2) 評価規準

論理的な文章を読み、筆者の主張やその根拠となる資料を整理して、主張と論拠など情報と情報との関係について理解している。

(3) 指導と評価の流れ

〔指導の工夫〕

- ①筆者が自身の論を展開するために、どのような資料をどのように組み合わせた上で、根拠として活用しているかをワークシートに整理し、根拠としての確かさ、ふさわしさについて考え、情報と情報の関係について検討が必要なことを確認させた。
- ②個人で見いだした情報と情報との関係を基に、具体的な論の展開の仕方をグループで話し合い、ワークシートに整理させた。

〔評価の工夫〕

- ・「論理的な文章を読み、筆者の主張やその根拠となる資料を整理して、主張と論拠など情報と情報との関係について理解を深めている」状況を「論理的な文章の中から主張と論拠を示す表現を区別し、それらの関係についての確に理解している」姿（「おおむね満足できる」状況（B））と捉え評価した。

学習場面	学習活動	学習活動における具体的評価規準・評価方法
導入	<ul style="list-style-type: none"> ・本時のねらいや進め方、言語活動の詳細及び評価の観点を把握し、学習活動について見通しをもつ。 ・前時の学習活動で確認した『安くておいしい国』の限界」での筆者の主張を振り返る。 ・読み手に伝わる文章を書くには、主張を支える根拠の資料が必要であることを確認する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> 課題：筆者の主張の根拠となる資料を整理し、主張と論拠など情報と情報との関係について考えよう。 </div>	
展開	<p>〔指導の工夫①〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・筆者の主張の根拠となる資料をワークシートに記入する。 ・根拠となる資料にはどのような情報がどのように組み合わされているかをワークシートに整理する。 ・筆者の主張と根拠として活用している資料のつながりを捉える。 ・筆者の活用した資料を基に、根拠としての確かさ、ふさわしさを考え、主張と論拠など情報と情報との関係について、気付いたことをワークシートに記入する。 	

	<p>【指導の工夫②】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個人で見いだした情報と情報との関係を基に、具体的な論の展開の仕方をグループで話し合う。 ・グループで検討した論の展開の仕方をクラスで共有する。 ・クラスで共有した意見を踏まえ、改めて主張と論拠など情報と情報との関係について、ワークシートに記入する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・論理的な文章を読み、筆者の主張やその根拠となる資料を整理して、主張と論拠など情報と情報との関係について理解している。 (ワークシートの記述)
まとめ	<ul style="list-style-type: none"> ・学習した内容を振り返り、次回行う学習活動を確認する。 	

(4) 「知識・技能」の評価例

< 問 い >

筆者の主張と根拠を示し、筆者は「統計資料」と「その他の事実（筆者の経験等）」をどのように組み合わせて自身の論を展開させているかを考えよう。

【評価Bの例】

筆者は「安くておいしい日本をやめるべきだ」という主張を、「統計資料」とそれと関わりのある「その他の事実」を組み合わせることによって説得力をもたせている。

筆者の主張と根拠を示しながら「統計資料」と「その他の事実（筆者の経験等）」を組み合わせていることについて記述できているので、評価Bと判断した。

【評価Aの例】

今の日本と世界の問題を「統計資料」によって明らかにし、その原因を自身の経験や外国人から聞いた話といった「その他の事実」によって考察しながら、日本が直面しているブラック企業の問題や外国人の人権侵害といった課題を解決するためにも良いサービスには適正価格を付けるべきだという主張を展開している。

筆者の主張と根拠を示しながら「統計資料」だけでは不足している部分を、「その他の事実（筆者の経験等）」によって補っているというように、「統計資料」と「その他の事実（筆者の経験等）」の関係性を明らかにしながら記述できているので、評価Aと判断した。

【評価Cの例】

段落ごとに違った内容になっている。

「統計資料」と「その他の事実（筆者の経験等）」の関係性について言及していないため、評価Cと判断した。

【「努力を要する」状況と評価した生徒に対する指導の手立て】

グループでの話し合いを通し、他の生徒の意見を参考にしながら、改めて本文を振り返って情報と情報の関係性を振り返るよう指導する。

6 事例2 観点別学習状況の評価の進め方 思考・判断・表現

(1) 本時(第5時)の目標

「書くこと」において、目的や意図に応じて、実社会の中から適切な題材を決め、集めた情報の妥当性や信頼性を吟味して、伝えたいことを明確にする。

(2) 評価規準

「書くこと」において、目的や意図に応じて、実社会の中から適切な題材を決め、集めた情報の妥当性や信頼性を吟味して、伝えたいことを明確にしている。

(3) 指導と評価の流れ

〔指導の工夫〕

- ・前時を振り返り、情報の妥当性、信頼性の吟味の仕方について確認するよう指導した。

〔評価の工夫〕

- ・[思考・判断・表現]①の『書くこと』において、目的や意図に応じて、実社会の中から適切な題材を決め、集めた情報の妥当性や信頼性を吟味して、伝えたいことを明確にしている」状況を、「適切なテーマを決め集めた情報の妥当性や信頼性について吟味し、伝えたいことを具体的にワークシートに記述している」姿（「おおむね満足できる状況（B）」）と捉え、評価した。

学習場面	学習活動	学習活動における具体的評価規準・評価方法
導入	<p>〔指導の工夫〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前回の学習内容を振り返る。 ・本時のねらいや進め方、言語活動の詳細及び評価の観点を把握し、学習活動について見通しをもつ。 <p>課題：教科書「統計資料をもとに意見を書く」から統計資料の一つを選び、その資料から読み取ったことを基に、意見文を400字～600字で書こう。</p>	
展開	<ul style="list-style-type: none"> ・選んだ資料から客観的に読み取ったことをワークシートに記入する。 ・読み取ったことを基にした自身の主張を決める。 ・タブレットを用いて自身の主張を展開するために必要な情報を選び取る。 ・教科書の統計資料と自分が選んだ情報を基に400字～600字以内で意見文を書く。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「書くこと」において、目的や意図に応じて、実社会の中から適切な題材を決め、集めた情報の妥当性や信頼性を吟味して、伝えたいことを明確にしている。（ワークシートの記述）
まとめ	<ul style="list-style-type: none"> ・学習した内容を振り返り、次回行う学習内容を確認する。 	

学習場面	学習活動	学習活動における具体的 評価規準・評価方法
導入	<ul style="list-style-type: none"> ・前時までの学習内容の復習と本時の学習目標を理解する。 ・前時に個人で書いた意見文を振り返る。 ・同じ統計資料を活用して意見文を書いた生徒同士でグループを作り、互いの意見文を相互評価する中で自身の課題と改善点を明確にするという目標を確認する。 	
展開	<ul style="list-style-type: none"> ・4人グループに分かれ、自身の意見文を発表していく。 ・互いの意見文を聞いて相互評価シートを用いて評価する。 ・各グループの代表者が全体に発表する。 ・各グループで代表者を決め、全体の前で意見文を発表する。 ・発表を聞く側は、他のグループで参考になった意見文の論の展開をメモする。 <p>【指導の工夫】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・他の人の意見文から、自身の意見文の書き方、情報の扱い方について課題と改善点を考え、振り返りシートに記入する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・意見文を書くことを通して、情報の妥当性や信頼性の吟味の仕方について理解を深め、自分の考えが読み手に的確に伝わるよう根拠の示し方や説明の仕方を粘り強く考え、自らの学習を調整しようとしている。 <p>(ワークシート記述)</p>
まとめ	<ul style="list-style-type: none"> ・本時のまとめと次時の学習内容について確認する。 	



(4) 「主体的に学習に取り組む態度」の評価例

〈 問 い 〉

相互評価、全体発表を踏まえて、自分が書いた意見文の良かった点、改善すべき点について具体的にまとめよう。

【評価Bの例】

主張を支える根拠となる資料を示すことができているので、もっと説得力のある意見文を書けるようにしたい。

「自身の課題」が明記されているが、どのように改善するかまでは言及できていないので、評価Bと判断した。

【評価Aの例】

自分の主張とその根拠の関係を確認しながら、読み手に伝わる意見文を書くことができた。今後は、根拠にした統計資料を複数のデータで比較したり、統計資料を自分に引きつけて考えられるような具体例を加えたりして、より説得力のある文章を書いてみたい。

「自身の課題」が明記されており、どのように改善するかまで言及できているので、評価Aと判断した。

【評価Cの例】

今回の実践では評価Cの生徒はいなかった。授業の目標に合致する内容を記述していない場合は評価Cにする計画だった。

【「努力を要する」状況と評価した生徒に対する指導の手立て】

ワークシートにおいて少しでも追記できないことがないか再考させる。